

2017. 7. 25  
No. 149

# ホザナ園 だより

<http://hozanaen.or.jp/>

後援会事務所  
〒336-0918  
さいたま市緑区松木1-16-20  
TEL (048) 873-9216  
振替 00160-2-19387  
会長 大迫裕男

児童養護施設  
ホザナ園後援会

## 新たな制度について

施設長 内田 伴之

数年前より話し合われていた新しい制度が、2017年4月1日から施行されることになりました。それは「社会的養護自立支援事業」というものです。まだ正式に運用はなされておらず、要綱がまとまるのは8月頃といわれています。

児童養護施設の子ども達が、大学もしくは専門学校へ進学するケースが増えてきています。しかしながら、現在は18歳までの養護ということで、進学するには施設を退所し、アパート等を借りるか、学生寮に入らなければなりません。これでは学費に生活費に家賃と、大学生活を続けていくことさえ困難な状況です。そのような中、埼玉県では3年前から「希望の家」という事業をおこなって

いて、児童養護施設を退所し、大学や専門学校に進学する子ども達に対し、安価でアパートなどを借り上げ、専門の相談員を派遣し、その場所に住まわせています。学生生活を送る子ども達にとつて、大変ありがたい事業となつていきます。現在は3か所、来年からは4か所に増やしていくという事でした。

新しい制度の「社会的養護自立支援事業」では、22歳まで児童養護施設で引き続き養護することが可能になりました。誰でもが使えるというわけではありませんが、この制度を使うと、大学にも施設から通える可能性があるという事になります。非常に喜ばしい制度であることは間違いありません。

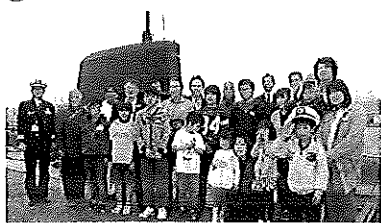
しかし気をつけなければならぬこともいくつかあります。施設を退所する予定の子ども達がすべて大学等に進学しそのまま施設での生活を続けた場合、新たに保護が必要な子ども達に対して、施設入所が困難になつてしまふ事、そして20歳を超えることで、すでに「子ども」ではなく「大人」としての対応が求められる事です。2015年に国が定めた「家庭的養護推進計画」を受けて、埼玉県が調査した今後の社会的養護が必要な子ども達は、15年後でも「微増」という事でした。「家庭的養護推進計画」では要保護児童を、施設と里親とファミリーホームで、3分の1ずつ受け入れていこうという目標が立てられています。里親もファミリーホームも増え

なければ受け入れ先がなく、施設も増えないとすれば、行き場がなくなつてしまう子ども達が増えるということになります。

20歳を過ぎての生活に関しては、「大人」としての対応も求められ、施設の中とは違い大学等や社会での振る舞いは大人としての扱いを受けるわけです。その中に「飲酒」や「喫煙」もあるわけで、施設外での「飲酒・喫煙」を制限するのは困難だと思われるのです。法律的には「大人」として認められている事なので、施設としてどこまで受け入れられるのか、対応しうるのが不安になります。それ以外にも「異性との付き合い」や「結婚」も関係してくるかもしれません。まだ細かい要綱も出てきていないので、どのように運用されるかは不明ですが、丁寧にみていかなければならないと思います。

ともあれ、18歳からすぐに自立というのではなく、22歳までの養護が出来るようになってきたことは、子ども達にとつて喜ばしいことでもあります。今後の児童養護施設も変化を続けながら、子ども達の為に必要な支援をおこなっていくことが重要だと感じています。

(日本基督教団 浦和別所教会員)



「潜水艦見学」招待

## 四季折々

春 初夏

施設長 内田 伴之



☆避難訓練が行われました。ホザナ園としては恒例の訓練ですが、子ども達にもマンネリ化していることは否めない感じがします。しかし、練習(訓練)が上手くいかなければ本番(あつてはいけないことですが)に避難できるわけもなく、職員と子ども達も訓練の時にいかに真剣に取り組むかが重要になってきます。(三月四日)

☆中学三年生の受験は全員合格をいたしました。皆様の応援のおかげだと思っております。もちろん、本人の努力もありました。これから始まる高校生生活に励んでもらいたいです。(三月二日入試・三月十日発表)

☆卒業を祝う会が行われました。家庭に戻る子や、施設を出て自立する子など、さまざまですが、新しい生活の場面においても頑張ってもらいたいと思います。(三月十六日・二二日)

☆浦和中ロータリークラブの方々より、横須賀港に泊まっている「潜水艦」の見学のご奉仕がありました。小・中学生九名と職員四名、合計一三名参加。初めての経験だけに驚いたり喜んだり、楽しい一日を過ごさせていただきました。横須賀海軍カレールもいただきましたよ。貴重な体験を本当にありがとうございました。(四月八日)

☆小・中学校の入学式始業式がありました。大きな希望と少しの不安を持ちながら、新たな一歩を踏み出す子ども達の顔つきは緊張した中にも晴れやかでした。頑張つて欲しいと思います。(四月十日)

☆ホザナ園のイースターが行われました。本来のイースターの日にちより一週間遅れではありますが、浦和別所教会の澤田石先生にも協力いただき、楽しいイースターの礼拝とゲームの時間を持つことが出来ました。主イエス様の復活の意味をしつかりとわかる光の子どもとして歩んで欲しいと思います。(四月二三日)

☆入学を祝う会が南棟北棟それぞれで行われました。入学した子ども達も、進級した子ども達も新しい一年に向けて抱負を語ってもらいました。楽しいひと時となりました。(四月二五日・二七日)

☆ハンサムグループの方々による散髪のご奉仕がありました。原則毎月一回、第一月曜日に来ていただいております。スタッフの方とのお話を楽しみに行っている子ども達もいます。さっぱりして気持ちよくなりました。いつもありがとうございます。(五月一日)

☆小学五年生のいわゆる林間学校が一四日から一六日まで行われました。場所はさいたま市立「館若少年自然の家」(福島県南会津郡南会津町)です。五月の時期はまだ寒いくらいですが、楽しい思い出の旅となりました。(五月一四日〜一六日)

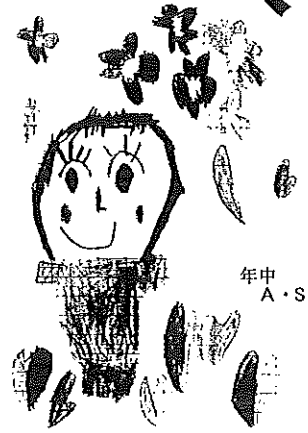
☆浦和レッドダイヤモンズ様より公式戦の招待がありました。今回の対戦相手は今年J1に復帰してきた清水エスパルスです。激しい点の取り合いになって、三対三の引き分けに終わりました。勝てなかつたことは残念でしたが、ハラハラドキドキの試合を観ることができ、とても楽しかったです。ありがとうございます。(五月二十日)

☆メイスン財団様よりメロニック子ども祭りのご招待がありました。場所は東京タワーのすぐ横のビルの駐車場で行われました。今回は4名の子ども達が参加しました。外国の方がたくさんいらっしゃったり、楽しいアトラクションがあつたりと、とても楽しく参加できました。ご招待ありがとうございました。(五月二一日)



☆花の日礼拝が、浦和別所教会で行われました。ホザナ園からは子ども四名・職員一名が参加しました。消防署と警察署にお花を届けて、いろんなお話を聞いたり、消防車などを見せてもらったりしました。楽しかったです。(六月十一日)

# 作文



## ふつうの生活

小三 R・M(男子)

さいきんはふつうの生活だけど、少し分かったところが、いっぱいあります。分かったところは、いろいろな、ペンきょうでどんどんしっていきます。これからも気をつけて、ママといっしょにくらしたい。

## がんばっています

小六 M・K(女子)

私は、このごろサッカーの練習をしています。(12月?にサッカー大会があるので今からやろう!!)でも思っているのでしょうか? (??)ともかく今がんばっています。キーパーもセンター?も向いていなかったののでシヨックです。でもがんばっています。今からやっつて12月まで、もつか心配です……。でもやっつてみなくちゃわからないから12月までがんばります。

## 中学生

中一 K・O(女子)

六月二〇日、火曜日。中学生になってバトミントン部に入りました。部活はきついです。けれどがんばります。友達から「文豪ストレイドッグス」という本を借りました。とてもおもしろかったです。私は文ストわんを買ったので次は、公式アンソワジが欲しいです。

## 野球部

中三 U・H(男子)

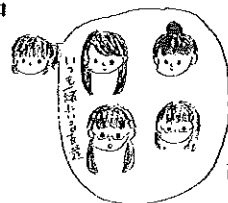
始めましてよろしくお願ひします。僕は今、中三です。この前、六月三日に学校総合体育大会がありました。僕は野球部です。M中野球部はとても弱いと聞いていて、確かにその通りでした。でも努力は、どこにも負けてないと思います。たくさん努力し、つらいときもあつたけど頑張りました。それで僕は背番号4をもらいました。とてもうれしかったです。

そして本番がきました。緊張しました。全然打てなかつたので悔しかったです。さらに試合も負けてしまったので悔しかったです。すごい悔いが残りました。でも負けてしまったものはしょうがないと思います。また高校でも大好きな野球を続けて「甲子園」という大きなステージに向かつて行きたいです。頑張ります。(二〇一七年三月入所)

## 楽しい高校生活

高一 H・A(女子)

高校に入ってから約2ヶ月が経ちました。部活は軽音部に入り、ドラムをやっています。色々大変な事もあるけどずっと楽しくてすく制服もかわいいし友達も優しいので学校に行くのが楽しみです。体育が大変なのが中学と違うところです。



## ホザナ園での生活

中三 H・N(女子)

私がホザナ園に来てたくさん楽しい事がありました。みんなの誕生日会とかです。ここに来て色々な人と出会い、時には別れを。一期一会と言いますよね。Nちゃんのお別れ会、Mさんのお別れ会など色々ありました。出合いには、この園の子達や新しく来たMちゃん、そしてこれからも来る新しい子、新しい学校、新しい出合いは、とても自分にとっても良いことだと思っています。これから修学旅行があつてとても楽しみます。クラスのみんなとたくさん思い出を作っつていきたいです。

園のみんなとも思い出を作りたいです。

(二〇一七年三月入所)

# 職員人事

2016年度退職  
2017年度採用



## — 採用 —

### 関口 栄子さん

非常勤職員からの採用となりました。栄養士としての採用です。家庭との両立は大変だと思いますが、明るさと忍耐力で乗り切って欲しいと思います。頑張ってください。

### 鹿毛彩也乃さん

新卒での採用です。子ども達とのかかわりを求めてこの仕事を選んでくれました。大変なこともあると思いますが、若さで乗り切って行きましょう。頑張ってください。

### 船渡 賢孝さん

他業種からの転職ですが、大学では心理を勉強されていたようで、勉強の成果を発揮されることを期待しています。頑張ってください。

### 栗原 大樹さん

新卒での採用です。子どもが好きで、この仕事を選んだとの事。子ども達との年齢も近いので、共感できることも多いと思います。良き相談相手としても期待しています。頑張ってください。

(内田施設長)

## — 退職 —

### 高橋はるかさん

新たな目標を得ての退職です。今後も頑張ってください。  
4年間お疲れ様でした。

### 澤島千亜希さん

2年という期間でしたが、退職となりました。今後の活躍を期待しています。

## 二〇一七年度 総会報告

去る五月二十九日(月)午後二時～四時

二〇一七年度ホザナ園後援会総会が、開催されました。出席者は九名

一、二〇一六年度事業報告並びに決算の承認

・年末募金の送付先の報告。

・ホール建設積立金については、個人二件、

教会一件の指定献金があり個人の方からの大口献金により大幅増となりました。

二、二〇一六年度事業計画並びに予算の審議

・ホザナ園便り一四九号、一五〇号、

一五一号を発行予定。

予定発行部数 一四九号は、一八〇〇部

一五〇号は、三一〇〇部

一五一号は、一八〇〇部

・年末募金の趣意書、要覧の作成及び発送

については十一月を予定。

発行部数は、未定(前年度見直し検討)

・今年度収入予算は個人・法人会費の増を見込み、取り組んで行く事とした。

・支出の部は印刷費・雑費を減らし消耗品

費・主事費を増としたアフタケア費は来

春卒園児童六名の予定が有り、前年より

大幅増となる見込み。

三、二〇一六年度育英基金会計報告の承認、

及び提案事項の決議

・大学進学者二名の援助金・貸付金の支出

がありました。

四、その他

・会長・副会長・幹事(三名) 以上五名は

二年任期の二年目となる。

・ホザナ園創立記念誌は七五年を目標に進

めていく事とする。

・来春公立大学入学を目指している男子か

ら塾費用の一部を援助して欲しいとの申

し出がありこれを了承。

・岸亮夫監事より体調が優れないとの退任

の意向を受け、前ホザナ園職員であった

吉田久夫氏を後任とする事を、役員会で

決定。

以上議題一、二、三、四を会計監査報告の

後一括承認しました。

◎後援会費並びに寄付金納入者御芳名

平成29年3月～6月(順不同・敬称略)

金額 八九六、二〇〇円

会員・一般

B L A 木下和好・恵美子、相場敏江、秋元勇己、朝熊純一、磯見辰典、石井初江、岩崎和子、大輝精一、大迫裕男、小国睦子、長田慶子、尾島江子、香川實、加行尚、加納貞彦、神谷浩二・きみ子、河合昭典、北原重信、近藤健一郎、酒井高男、榎原紀恵子、佐久間弘子、佐々木正、椎名富夫、鈴木榮、菅原進、砂子幸弘、高橋廣見、田島章義、立石昭三、頓所正・雅子、中田知子、中村金太郎、長村禎子、中村幸夫、西海満希子、野下千年、萩原明、姫井雅夫、坂東弘理、深谷春男・美歌子、増島夕子、本橋睦夫、森崎千恵、山本則子、湯目瑞枝、若井克子、青木早苗、石井直子、稲穂政子、浦部千恵子、大川進、沖本道子、川田倫、柏田実、熊谷芳江、佐々木健至・ふじ子、白水三千代、皆川時男、森脇芳子、山本孝恵、依田英雄、横山義孝、横山静子、柳川義也、杉山誠、岸亮夫、原嶋和夫、佐藤千恵、伊藤基子、篠原照美、澤田石秀晴、青木脩・和子、井戸上彰・絵里、内田潔子、内田まり子、金井俊子、篠崎紀代子、鈴木二郎・嗣子、濱田京子、春名道子、横山征堡、吉原將文、山本純子

法人・教会・団体・他

N P O 法人さいたまユネスコ協会、秩父石炭工業株式会社、(株)ウシヤマ設計、洛陽教会、田園調布教会、宇都宮上町教会、米子教会、亀戸教会、渋谷教会、フルゴスベル名古屋教会(純福音名古屋教会)、さいたま福音キリスト教会、志木教会、みどり野キリスト教会、ヒソプの会、浦和別所教会、浦和別所教会婦人会

保育園・幼稚園・学校

認定こども園母の会たねの家、認定こども園母の会、捜真女学校高等学校、日本聖書神学校学生自治会、和泉短期大学

◎育英基金献金者御芳名

平成29年3月～6月(順不同・敬称略)

金額 六一八、五〇〇円

B L A 木下和好・恵美子、朝熊純一、石井初江、市川浩一、大金久典、大迫裕男、河合昭典、佐々木正、佐久間弘子、清水晃、鈴木桂子、常木雅美、中田知子、中村金太郎、野島博、野島まどか、馬場元毅、坂東弘理、藤川祐子(故人)、増山律子、皆川時男、若林緑、山本純子

◎ボランティア来訪者御芳名

平成29年3月～6月(順不同・敬称略)

散髪IIハンサムファースト・ハンサムクラシック浦和西口店・カットサロンGINZA・ファ

ミリーカットサロンとまと  
学習ボランティアII松尾雄一・赤木裕治

◎物品寄贈・ご招待等

平成29年3月～6月(順不同・敬称略)

母の会幼稚園若葉会(入学準備袋セット)、ドリウムランド川口(菓子)、セカンドハーベストジャパン(お菓子・お茶他・毎月米・醬油・食用油他)、サイバーパチンコ北浦和店(お菓子)、プレム・ラワット日本事務局合同会社文屋(絵本)、N P O 法人タイガーマスク基金事務局(テレホンカード)、国民生活センター広報部地方支援課(本)、社会福祉協議会施設業務課(長机)、リブレット基金事業財団 理事長川渕孝一(幼児用自転車)、(株)ハーベス代表取締役前田知憲(寄付)、(株)シーピーエス(本)、(株)スプリングス(印鑑)、日本出版販売労働組合(雑誌)、(株)チユチュアンナ(靴下)、浦和レッドダイヤモンズ(リーグ試合観戦招待)、浦和中ロータリークラブ(潜水艦見学招待)、クレヨンハウス(絵の具)、プロジェクト森本利根(本)、メイソン財団(メソニック子ども祭り招待)、(有)ダスカジャパンクアウテモック(チョココレート)、補友会 玉井祐子(寄付) 須坂教会(豆菓子)、椎名富夫(ネギ)、長尾淑子(毎月米50kg・食器・布団カバー他)、田畑かおり(三輪車・こども用自転車)、常木雅美(ぞうきん)、佐々木清美(お菓子)、河合昭典(ゴミストッカー)、藤田(シルバニアファミリー式)

2016年度 育英基金会計報告

収 入	金 額
前年度繰越金	11,453,586
寄付金 (個人54名・幼稚園1・教会1) 延111件	1,838,700
埼玉りそな銀行普通預金利子(1年間)	9
埼玉りそな銀行定期預金利子(11回)	2,059
合 計	13,294,354

支 出	金 額
入 学 金	400,000
前期授業料	1,158,410
振込手数料	1,728
次年度繰越金	11,734,216
合 計	13,294,354

2016年度 ホール建設積立金報告

収 入	金 額
2015年度繰越金	19,915,891
寄付金(個人2・教会1)3件	4,012,000
定期預金利子	2,022
2016年度ホール建設積立金	1,800,000
次年度繰越金	25,729,913
計(17口)	25,729,913

2016年度 後援会会計決算報告

収入の部

科 目	2016年度予算	2016年度決算
個人会費	1,700,000	1,943,300
法人会費	400,000	432,000
寄 付 金	3,400,000	3,553,590
ホール建設積立金	700,000	4,012,000
雑 収 入		0
貯 金 利 子		228
小 計	6,200,000	9,941,118
繰 越 金	109,257	109,257
合 計	6,309,257	10,050,375

支出の部

科 目	2016年度予算	2016年度決算
ホール建設積立金	2,000,000	5,812,000
援助費	2,300,000	2,300,000
通 信 費	500,000	467,848
印 刷 費	500,000	438,183
交 通 費	45,000	36,500
消 耗 品 費	25,000	33,713
会 議 費	2,000	2,000
年末募金費	5,000	5,000
主 事 費	720,000	720,000
備 品 費	15,120	16,200
雑 費	100,000	72,956
アフタケア費	30,000	60,000
予 備 費	67,137	0
小 計	6,309,257	9,964,400
繰 越 金		85,975
合 計	6,309,257	10,050,375

マザーテレサの「日めくりカレンダー」の言葉に「全力を尽くした時間だけが意味のある時間です。」とありますが、園の子ども達の作文からも「今の時間」を頑張って前向きに歩んでいる様子を伺い知ることが出来ます。二歳からホザナ園に来ている子、中学、高校生になつて初めて入所した子、子ども達が抱えているものはそれぞれ違いますが、心を閉ざしている子どももいると聞きます。自分の思いでは、どうすることもできない状況の中でも少し心を開いて、一歩踏み出すことができるよう、お祈り頂ければ幸いです。厳しい暑さが日増しに強くなつておりますが、皆様の健康が守られます事を祈りしております。

山本純子

編集後記

ホザナ園子ども礼拝後の  
レクリエーション

3/12(Ⅱ)  
「ハンカチ落とし」  
積み木でタワー作り競争  
子ども7名 大人6名

浦和別所教会との交流

4/16(Ⅲ)  
「イースター祝会」  
子ども7名

6/11(Ⅱ)  
「花の日合同礼拝」  
子ども4名